

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **740** June 2020

大原社会問題研究所雑誌

大原社会問題研究所雑誌

740 2020.6

七四〇号
【特集】無産政党の史的研究——『社会民衆新聞』『社会大衆新聞』を中心に

Special Issue : Historical Studies of Proletarian Party :

Focusing on “Shakai-Minshu Shinbun” and “Shakai-Taishu Shinbun”

- Introduction to the Special Issue ENOKI Kazue
 Formation of a Support Base for the Members of the Local Assembly of Proletarian Party
 SUGIMOTO Hiroyuki
 Organizing Female People by the Political Parties of Labourers on Interwar Period:
 With Focus on ‘Shakai-Minshu-Fujindomei (Socialist Organization for Female People)’
 KAIZUMA Keiko
 A Study on the Establishment of The National Labour-Farmer Masses Party
FUKE Takahiro
 Gaze of Social Democratic Party and Social Masses Party towards
 Proletarian Arts and Culture..... TATEMOTO Hiroyuki

Book Reviews

- Hu Peng, *Japanese Women's Organizations under the Wartime System*
YONEDA Sayoko

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting SUZUKI Akira

The Institute's Activities in February 2020

【特集】無産政党の史的研究——『社会民衆新聞』『社会大衆新聞』を中心に

- 特集にあたって 榎 一江 1
 無産政党地方議会議員の支持基盤形成 杉本弘幸 4
 戦間期無産政党の女性「大衆」組織化 海妻径子 28
 全国労農大衆党結党の検討 福家崇洋 43
 社会民衆党・社会大衆党の無産者芸術・文化へのまなざし 立本紘之 66

■書評と紹介

- 胡澎著／莊嚴訳『戦時体制下日本の女性団体』 米田佐代子 83
 社会・労働関係文献月録 90
 月例研究会 鈴木 玲 92
 所 報 2020年2月 93

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail : oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
 法政大学大原社会問題研究所
 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価(本体926円+税)
 年間購読 12,000円(税込)

二〇二〇年六月

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

《法政大学大原社会問題研究所叢書》

大原社会問題研究所 100年史

法政大学大原社会問題研究所 編

1919年2月9日、大原孫三郎によって創立された大原社会問題研究所は、社会問題・労働問題の調査研究のみならず、国内外の図書・資料収集、各種年鑑・紀要・叢書の編集刊行、シンポジウム・セミナーの開催、国際交流といった幅広い活動を展開してきた。創立100周年を迎え、環境・格差・ジェンダー・エスニシティなど現代の諸課題への取り組みもますます注目を集める研究所の歴史をふりかえる。

■ A5判・上製・298頁/3960円

■ 主要目次 ■

序章 研究所創立前史

- 一 大原孫三郎
- 二 高野岩三郎
- 三 米騒動と社会問題調査機関の設立

第一部 大阪時代 一九一九～一九三六

第一章 創立期の大原社会問題研究所

- 一 大原社会問題研究所の創立
- 二 高野岩三郎の所長就任
- 三 研究所の竣工と事業の開始

第二章 財団法人大原社会問題研究所の活動

- 一 一九二二年の財団法人化
- 二 本格的事業の展開
- 三 「存廃問題」の発端
- 四 一九三〇年代の研究所

第二部 東京移転と法政大学との合併 一九三七～一九八五

第三章 研究所の東京移転

- 一 東京移転に向けて
- 二 東京柏木での大原社会問題研究所
- 三 敗戦直後の大原社会問題研究所

第四章 法政大学との合併

- 一 財団法人法政大学大原社会問題研究所の設立
- 二 財団法人法政大学大原社会問題研究所の事業展開
- 三 財団法人法政大学大原社会問題研究所の解散

第三部 多摩キャンパス時代 一九八六～二〇一九

第五章 多摩移転と研究活動の広がり

- 一 多摩移転後の活動
- 二 二〇〇〇年代の研究所

第六章 研究所の現在

- 一 研究所組織と記念事業
- 二 環境アーカイブズの統合（二〇一三年）
- 三 国際的な研究交流の進展
- 四 研究所の諸活動

終章 一〇〇周年記念事業と研究所のこれから

- 一 一〇〇周年記念事業
- 二 研究所のこれから

法政大学大原社会問題研究所所員名簿
大原社会問題研究所出版目録
大原社会問題研究所 100 年の歩み



法政大学出版局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 <http://www.h-up.com/>
TEL 03-5214-5540/FAX 03-5214-5542 ※表示価格は税込みです

日本労働研究雑誌

No.719 2020年6月号

定価 852円+税 年間購読 11,244円(税込)

特集「無償労働と有償労働の間」

■ 提言	無償労働の再定義へ	野川 忍
■ 論文	無償労働の経済的評価	橋本美由紀
	「無償」労働と賃金	皆川 宏之
	介護手当と家族介護——ドイツの動向から考える	森 周子
	家事と仕事をめぐる夫婦の関係	永井 暁子
	労働の動機づけにおける金銭的報酬と非金銭的報酬の役割	村山 航
■ 論文(投稿)	保育所がもたらす母親の就業促進効果 ——認可保育所が提供するサービスに注目して	中山 真緒
■ 読書ノート	安達智子 著『自分と社会からキャリアを考える』	永作 稔
■ 論文Today	低賃金労働者を巡る労働法制と所得保障法制の接点 ——イギリス・ユニバーサルクレジットが提起する課題	林 健太郎
■ フィールド・アイ	連帯の崩壊? (ミュンヘンから①)	後藤 究

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2020年4月号
75巻4号

4

定価 1,200 円(税込)
年間購読 13,000 円(税込)

【特集】いじめ・暴力・ハラスメントのない仕事の世界

- ◆職場のいじめ・暴力・ハラスメント対策の課題と国際動向 ……津野香奈美
- ◆医療と在宅現場の暴力・ハラスメント対策…三木明子
- ◆ジェンダー・ハラスメント ……中野麻美
- ◆公務職場のパワハラ対策——問われる実効性 ……金子雅臣
- ◆精神障害労災認定事案に見るいじめ・ハラスメントと防止対策への視点 ……木内敬太・吉川徹
- ◆感情労働とカスハラ防止対策…大島秀利
- ◆ハラスメントのない芸能界のために—ハラスメント実態と雇用類似の働き方保護の課題…森崎めぐみ
- ◆巻頭言：いじめっ子をつくらない学校風土 ……中村和子
- ◆セミナー再録・4 誰もが生き生きと働ける社会を創る(上) ……村木厚子
- ◆労研アーカイブを読む・54 労働代謝と労働量算定—産業労働の現場の実態を明らかに…岸田孝弥
- ◆凡夫の安全衛生記・40 「求めるだけでなく」監督者への期待 ……福成雄三
- ◆Between・4 「木」について ……高見晴恵
- ◆口絵：ディーセント・ワークを目指す職場・16 レバノンの木工所のKaizen活動(1) ……長須美和子

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
TEL: 03-6447-1435 FAX: 03-6447-1436 HP: <http://www.isl.or.jp/>